

小型自動導入赤道儀を購入

2023-5-27

京都市 福原浩一

はじめに

すでに経緯台自動導入赤道儀(Az-GTi)を所有し、前回遠征に持って行き、見たい天体・星雲が手軽に観られる威力に関心しました。今回、近場での観望や将来の遠征に向けて、新たに小型で比較的軽量の自動導入赤道儀をシュミットさんで購入したので、ご紹介します。

小型赤道儀 Star Adventure GTi (SA-GTi) について

- マウントの質量が約 2.9kg で、自動導入機能を備えた小型軽量赤道儀
- Wi-Fi モジュールを内蔵し、専用の SynScanPro アプリ (Android/iOS/PC) をインストールしたスマートフォンやタブレット端末から操作できる
- 搭載可能重量は約 5kg (口径 90cm 位までの屈折式なら大丈夫そう)
- 極軸スコープを内蔵し、極軸合わせは、スコープのスケール上に SynScanPro アプリで表示された北極星と同じ位置に合わせるだけ (南天でもアプリを使う点は同じ)
- 操作パネルには USB-B、オートガイダーポート RJ12(ST4)、ハンドコントローラーポート、シャッター SNAP ポート、DC12V ジャックが装備されている
- 電源は単三電池 8 本、または DC12V ジャックを介して外部電源からの供給
- マウント底部に U3/8 メスネジがあり、他の三脚への取り付けも可能

動作させてみる

- 既に使っている Az-GTi と同一メーカーのため、スマホ/PC からの操作は同じで、さっそく動作させてみる
まずは操作パネルの電源 ON その後、スマホの WiFi を本体と接続し、アプリから望遠鏡を接続する
そして、1 スター〜3 スターアライメントで望遠鏡をセットすれば、望む天体・星雲等を導入できる
- 基本的にアライメントや鏡筒とのバランス調整は、他の赤道儀と同じ、今回は、手元の 70cm 屈折式をカメラ付きで載せてみる、極軸のアライメントは、スマホアプリにスコープ上の目標天体位置が表示される
↓ 写真左側から、SA-GTi に鏡筒を載せたところ、操作パネル、極望、Synscan Pro アプリ メニュー



感想

本体と三脚で、実測重量が 9.2kg、70cm 屈折にカメラを付けて 12.1kg と、それなりに軽量で、これならば、近場での観望や遠征にも使えそう。もう少し、確認して行きたい。